



千葉教会会堂利用委員会主催 公開講座
〈世界の宗教を理解する〉

ユダヤ人をはぐくんだ ユダヤ教

世界の科学，経済に大きな影響を与えている ユダヤ人。
キリスト教，イスラム教の母体にもなった ユダヤ教。
その歴史と文化について，ユダヤ研究の第一人者にお話いただきます。現代
世界を理解するための一つの鍵を，ぜひ聞きにおいで下さい。予約不要です。

講師

市川 裕氏（東京大学大学院教授）

日時

2015年11月29日(日) 13:30～

会場

日本キリスト教団 千葉教会教会堂
(県有形文化財)

千葉市中央区市場町9-20
043 - 222 - 4475

後援：千葉市教育委員会



講演のねらい



ユダヤ人といえば、ノーベル賞受賞者を輩出する知識人集団とも、また金融界を支配する経済人集団、あるいは、シヨアー（ホロコースト）によって苦汁を舐め600万人が犠牲となった人々、さらには、パレスチナ紛争の当事者等、話題が尽きませんが、そもそも彼らはどういう歴史を担って今日まで生き続けられたのでしょうか。日本の歴史がすっぽり入ってしまうほどの年月、国を失って世界に散ってもなお、ユダヤ人という自覚を持ち続け、生き続けた人々を支えた宗教に触れることによって、世界の歴史や自分史を考え直す手がかりとしていただければ幸いです。

内容は、前半に、近現代のユダヤ人が遭遇した様々な試練とその原因を考え、後半に、ユダヤ人を支え育んだ精神的支えとして、ユダヤ教の輪郭と特徴を素描します。

講師プロフィール

市川 裕 (いちかわ ひろし)

1953年生。法学部を卒業後、宗教学の大学院で旧約聖書を学ぶが、イエス時代のユダヤ教に強く惹かれたため、エルサレムのヘブライ大学に留学し、いわゆる律法研究に取り組む。

大学では学べない生きた宗教の現場を経験するため、現地のシナゴークで、1年間、毎朝の礼拝に出席し、一般庶民の生活の中に深く根ざした宗教の営みに感銘を受けた。また、現地で日本の宗教伝統について多く質問を受け、自分がいかに日本の宗教伝統に無知であるかを思い知らされた。そうした体験をもとに、帰国後に日本の宗教を学び比較宗教的にユダヤ教を研究し、近年では、一神教の中のユダヤ教の位置づけを通して、ユダヤ研究のおもしろさを発見することを心がけている。

主な著作：

『図説 ユダヤ教の歴史』(編著) 河出書房新社, 2015

『ユダヤ教の歴史』山川出版社, 2009

『ユダヤ人と国民国家』(共編著), 岩波書店, 2008

『ユダヤ教の精神構造』東大出版会 2004。

『バビロニアタルムード・マツコート篇』(翻訳監修) 三貴, 1996

『岩波講座東洋思想 ユダヤ思想1』(共著) 岩波書店, 1988

会場案内

日本キリスト教団
千葉教会

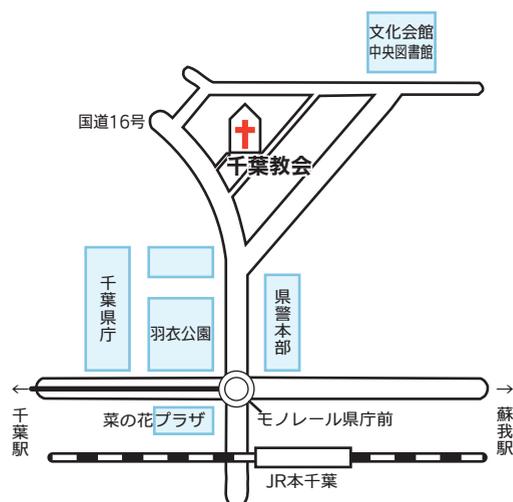
牧師 三吉信彦・三吉 明

伝道師 寒河江健

〒260-0855

千葉市中央区市場町9-20

<http://church.jp/chiba/>



◇交通

JR 内房・外房線 本千葉駅下車徒歩5分

JR 千葉駅乗り換え、千葉都市モノレール 県庁前下車徒歩3分